

## 丹波市特別職報酬等審議会（第2回）記録＜要点記録＞

○日時 令和6年3月12日（火）10：00～11：30

○場所 氷上住民センター つどいの間

○出席者

・委員 9人

大野委員長、中道職務代理者、田口委員、森田委員、菊本委員、長井委員  
石塚委員、常石委員、相根委員、足立委員（欠席）

・事務局 3人

柳田職員課長、上田副課長、余田人事給与係長

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

本日から実質の審議に入ります。こうしないといけない、ということはありません。忌憚のない意見をたくさん出していただくなかでまとめていきたいと思えます。

### 3 丹波市特別職報酬等審議会に関する傍聴規程第4条にかかる報告

傍聴者 0人

### 4 議事

・事務局が資料15から資料18を説明。

○資料に関する質問

委員：滋賀県の類似団体が多くでていますが、なぜですか。

事務局：近畿圏内の類似団体すべてを記載しており、結果として滋賀県が多くなっています。

委員：資料10の議会報告資料では類似団体以外の団体もあがっていますが、今回のこととは別個のこととして記載しているのでしょうか。

事務局：類似団体は人口と産業構造により分類したのですが、議会報告資料では人口5万人～10万人の兵庫県内の市と定義しています。

○市長の給料等について

委員：資料18の退職金について。個人の掛金はなく、行政の負担分がある。一般的に4年でこれだけの退職金が出ると考えた場合、退職金も報酬の一部と考え、支給総額で考えていくほうがよいと思います。

委員：同じ意見です。財政がこれから厳しいのは数字でも見えており、不安が残る状態のアップは無いと思います。

委員：市長の職責は大変重責であるし、近隣市と比べて高くはないと思います。一方、財政収支見直しを見ると、今後悪化していくことが分かるので、上げるのもどうかと思います。

委員：退職金に関する意見はもともとだと思いますが、経済状況が変化し、中小企業の8割、大企業の9割以上が給料をあげることを加味すれば、考慮する余地はある。兵庫県の類似団体に比べ丹波市は1割低いということもあります。

委員：賃金アップは大企業が牽引しており、中小企業はその恩恵を受けていないのが実情。特に退職手当が民間とかけ離れています。給料アップするとして、住民がどう思うのかと思います。

委員：生活には十分な給料がでており、それ以上に熱意をもってやっていただくことを市民は期待しているのではないかと思います。民間感覚では現在の市長の給料が安いと言われることはないと思う。

委員：財政収支見通しが悪化するなかで市民の負担が今後増えたりするのでしょうか。

事務局：税の負担は全国でほぼ共通しており、丹波市だけが増えるということはいずれも考えられません。一般論としては、例えば福祉サービスの縮小や利用料が上がることなどが考えられますが、まずは市長・職員の給料カットなどによる対応になると考えられます。実際は市長の政策次第であると思います。

委員：民間と行政の給料体系を並べて考えるのはどうかと思います。行政は行政の執行に対する対価であって、民間の収益に対する報酬とは違うのではないのでしょうか。そこで比較対象として類似団体の財政力、規模に応じた額というのがあり、それがある程度認知されたものではないかと考えます。

委員長：立ち位置によって考え方は違ってくると思いますので、だからこそ様々な立場の方が委員になっておられる。まずはご自身の立場で意見を言っていていただいています。

委員：民間と行政の比較は難しいと思いますが、賃上げをするという目的として、最近では求人が少ないため、人材確保のために賃上げをするという状況です。

#### ○議員報酬について

委員：議員定数を削減されることは評価できます。議員の質の向上含め、専門性をもった議員が増えていくこと求められていると思いますが、報酬は稼働日数を含めて考えると現状で良いと理解しています。

- 委員：議員のなり手が少なく、手を上げてもらう魅力のある市にしようと思えば、報酬もついてこないといけないと思います。県内の類似団体を比べると議員で2割以上差があり、市長も議員も上げる必要があると感じます。
- 委員：上げたからといって議員になりたい人が増えるのかと思う一方で、生活給としていかないといけないという気持ちもあります。
- 職務代理：議員は幅広い世代からでたほうが活性化すると思います。
- 委員：そういう面を考えると報酬を考えないといけないと思います。
- 委員：金額だけみると兼業でないと難しい。人数を減らして濃密に勉強していただき、やってもらいたい。
- 委員：報酬を上げるタイミングは構図が変わったときであって、それが先行しないと変化にならないと思います。
- 委員長：報酬というよりは政務活動費を増やして勉強してやっていく格好になると議員として市を作っていくという魅力がでると思います。
- 委員：政務活動費は第2報酬という批判もありますので、見える部分として報酬を出すのが良いと思います。
- 委員長：予定時刻が近づいていますのでここまでとします。

#### ○その他

- 事務局：第1回の要点記録に訂正や疑義はありませんか。なければホームページで公表させていただきます。
- 委員：了承
- 委員：財政のこれからの見通しについて何か資料を用意できませんか。
- 事務局：用意します。

#### 審議会開催日程＜決定＞

##### 次回（第3回）

- 日時 令和6年4月10日（火）10時00分から
- 場所 氷上住民センター つどいの間

##### 次々回（第4回）

- 日時 令和6年5月15日（水）13時30分から
- 場所 氷上住民センター つどいの間